

きばおほどもうぢのさかのうへのいらつめ　こしのみちのなかのなみおほどもすく
姑大伴氏坂上郎女、越中守大伴宿
ねやかもち　おこ
禰家持に來贈する歌二首

四〇八〇番

つねひと　常人の　こ　恋ふといふよりは　あま　余りにて　われ　我は死ぬ
べく　なりにたらずや

四〇八一番

かたおもひ　片思を　うまに　ふつま　馬荷両馬に　お　負ほせ持て　こしへ　越辺に遣ら
ば　ひと　人かたはむかも